

有限会社吾妻プレス工業

〒 969-1511 福島県二本松市下川崎字篠根坂山 20 TEL. 0243-54-2301 FAX. 0243-54-2303

●代表者：代表取締役 渡辺 隆 ●設立：昭和 47 年 7 月
●資本金：1,000 万円 ●従業員：28 名 ●URL：http://azumap.sakura.ne.jp「良い物を速く安く届けたい」創業から
守り続ける“ものづくり”

NCレベラーフィーダーにより材料をコイル化し加工した試作品

きっかけ・課題

創業から金属プレス加工を主体として金型の設計製作およびそれに付随する加工等を手掛けてきました。

現在、金属プレス加工業を取り巻く環境は大変厳しい状況が続いており、他社では持っていない設備を導入することにより差別化を図る必要があり、厚板加工可能設備を導入しました。



INTERVIEW



積極的なチャレンジで加工の幅を広げていく

有限会社吾妻プレス工業 代表取締役 渡辺 隆

昭和43年の創業以来、金属プレス加工、プレス金型や設計製作を一貫して行い、これまで歩んでまいりました。時代に合わせた設備投資や難しい加工にも積極的に挑戦したことで、お客様からの信頼を得ることにつながっていると思います。

人手不足といわれるこの時代に、プレス加工のみならず様々な加工の幅を広げていけるように、日々、生産活動を続けてまいります。

実施内容

導入した設備により加工幅が広がり、
安定加工も実現

当社ではもともと金属プレス加工のノウハウを持ち合わせており、今回導入した設備により、板厚の加工幅が格段に広がりました。

既存の NC レベラーフィーダーでは、板厚が 4.5mm を超えるものはコイル材にできませんでしたが、板厚が 6.0mm までできる NC レベラーフィーダーを設置したことにより、厚板がコイル化できるようになりました。

現在、板厚が 5.0mm のものは切り板で対応していますが、これをコイル材化してブランク加工が安定してできるか実証しました。



事業の成果

生産プロセスの強化が多くのメリットをもたらす

機器導入後、生産プロセスの強化から高張力鋼板の取り扱いも可能となり、加工できる幅が広がったことが一番の成果となりました。さらに材料をコイル化したことにより、材料仕入れが安価になったことや歩留まりの向上が顕著にみられ、他社との見積競争でも優位に立てる強みとなり、経営面でも大きなメリットとなりました。

また、厚板のコイル材は取り扱いに注意が必要ですが、この機器は安全に加工できるような補助装置類が付いており、また原材料を手で持って機械に挿入することがないため、作業者の労力低減にもつながりました。



FUTURE OUTLOOK

金属プレス加工の可能性を広げるために挑戦し続ける

現在、自動車関連部品を中心に、産業機器部品や電子機器部品等を手掛けており、加工板厚は 0.03mm から 9.00mm まで幅広く対応が可能です。その他、抜き、曲げ、絞りはもちろん、試作、単発、順送などの加工にも対応できます。

「良い物を速く安く届けたい」をモットーに、金属プレス加工業の可能性を大きく広げるため、今後お客様のニーズに応えることができる企業を目指してまいります。

